

# 10月の園だより

令和5年9月29日  
杉並区立西荻北子供園  
園長 石床 美穂子

## 「日々の遊びから運動会へ」

副園長 小森 三奈子

厳しい夏の暑さが落ち着き、ようやく秋の涼しい風が吹くようになりました。体を動かして遊ぶのに心地よい季節となり、園庭では、元気いっぱい走ったり体を動かして遊んだりする姿が見られます。

10月中旬には、運動会を予定しています。子供園の運動会は、子どもたちが興味をもっていることや楽しんでる遊びを運動会の活動へとつなげていきます。

今年は、動物や虫に興味をもっている子どもたちが多かったので、「森」をテーマに運動会をすることになりました。

年少組は、日々の遊びの中で、ままごとや、お店屋さんごっこ、消防士、ネコなど、身近な人や動物になりきって遊んでいます。自分なりの表現を受け止めてくれる保育者がいることで、安心して表現し、何かのつもりになって遊ぶ楽しさを感じています。また、曲に合わせて保育者や同じクラスの友達と一緒に動くことを楽しんでいます。最近のうさぎ組がお気に入りの曲『バナナなの?』は、かわいいサルになって動き、踊り終わると「もう1回! (踊りたい)」とリクエストし、繰り返し踊る姿が見られます。保育者が一緒に楽しんだり、幼児一人ひとりの表現を受け止めたりすることで、のびのびと表現することを楽しみながら踊ったり、なりきって動いたりできるようにしています。

年中組は、1学期から学級で大事に飼育していたカブトムシをはじめ、園庭にいるバッタ、トンボ、カマキリ、チョウチョウなど、身近な虫に興味をもち、よく見えています。2学期になり、自分の好きな虫になりきって友達と一緒に動くことを楽しんでいます。また、「羽もつくってみたい!」「カブトムシのツノもつくろう!」と、保育室にある素材を使って、自分の好きな虫の羽もつくります。これまで虫に親しんでいたことで、自分なりに色や模様などを考え、工夫して作り、できた羽をすぐに身に付けて嬉しそうに遊んでいます。自分の思い付いたことや、やりたいことに合う教材を選んで使ったり、自分のやりたいことを実現して喜んだりする姿が見られるので、保育者はそれぞれの「やりたい」という思いを大事に受け止め、さらに意欲がもてるようにしています。

年長組は、保育者が円形のラインを引いたり綱を置いておいたりしたことがきっかけとなり、昨年の運動会の年長組の姿を思い出し、興味をもった幼児からリレー遊びや綱とりが始まりました。

初めは、思い切り走ることや力いっぱい引っ張ることなど、自分の力を出すことが楽しかったのですが、繰り返し行う中で、友達と一緒にする楽しさを感じ、自分で選ぶ遊びの中で、仲間を誘い合って遊び始めています。

友達と一緒に遊ぶ中で、競い合う面白さを感じたり、「こうしたら勝てる!」と気付いたことや考えたことを相手に分かるように伝えたりする姿が見られます。保育者は自分たちで遊びを進められるように用具を用意しておくことや、思いや考えを仲間同士で共有できるように支えたりすることで、めあてに向けて仲間と力を合わせて遊びを進めていく楽しさが感じられるようにしています。

運動会までの取組において、子供園の先生たちは日々、環境や援助を工夫し、子どもたちの「楽しい!」「もっとやりたい!」という気持ちを大事にしています。

子どもたちがワクワクする気持ちで運動会を迎えられるように、お子さんの楽しさに共感したり、保護者の方も一緒に楽しみにしたりしていただけたらと思います。そして、10月14日(土)の運動会では、子どもたちへの、あたたかいエールをよろしくお願いいたします。

## 子どもたちの様子と今月のねらい

### 3歳児 うさぎ組

9月も暑さが厳しく園庭に出られる日も少なかったのですが、出られた日は「今日はお外に出れる!」と、嬉しそうに帽子をかぶって園庭に飛び出していました。園庭では、アサガオとオシロイバナを使った色水遊びや、運動遊具を使ったコースづくり、保育者との追いかっこなどを楽しんでいます。すすんで戸外に出て、体を動かして遊ぶ楽しさを感じている様子です。子どもたちと一緒に保育者も運動遊びを楽しみ、運動会への取組に興味をもって参加できるようにします。

#### <今月のねらい>

- 保育者や他の幼児と一緒に体を動かして遊ぶ楽しさを感じる。
- 保育者や他の幼児がしていることに興味をもち、自分から関わろうとする。
- 遊びを楽しむ中で、自分の思いを動きや言葉で保育者や周りの幼児へ伝えようとする。

#### <家庭との連携>

朝は肌寒い日も出てきましたが、日中は活動すると少し汗ばむ陽気になります。登園時の服装はなるべく薄着にしましょう。上着を着用する際は、自分で脱ぎ着のできるものにしてください。ご家庭でも裏返しになった袖と一緒に直したり知らせたりして、自分でできることを増やしていきましょう。また、その上着をロッカーに掛けられるよう、首元にループがついているか確認をお願いします。

### 4歳児 くま組

9月は少し暑さが落ち着いた頃に、氷鬼やオオカミとコブタの鬼遊びをして走ることを楽しみました。逃げる・追いかけるだけでなく、同じ役を助けるルールも入りました。そのため、鬼役の友達の動きよく見て、何度も捕まえたり助けたりする中で、友達との関わりが増えてきています。今月はいろいろな運動遊びをする中で、思い切り体を動かす楽しさをより感じられるようにしていきます。

#### <今月のねらい>

- 保育者や友達と一緒に思い切り体を動かしていろいろな運動遊びをする楽しさを味わう。
- 自分のやりたいことや思ったことを言葉や動きで表しながら、友達と関わって遊ぶことを楽しむ。
- 園生活に必要なことに気づき、自分から進んでしようとする。

#### <家庭との連携>

2学期から保育時間が長くなり、戸外で好きな遊びをする時間や学級のみんなで体を動かして遊ぶ時間が増えました。朝晩は涼しくなりましたが、日中に体を動かすと汗ばむ季節ですので、気候や活動に応じて衣服を調節できるよう、着替えの補充をよろしくをお願いします。

## 5歳児 そろ組

運動会に向けての取組が始まりました。そろ組の子どもたちが『森のお話（題名：たのしいみんなのもり）』をつくりました。このお話に出てくる動物になりきって表現したり、同じ役の友達と踊りや動きを考えたりすることを楽しんでいます。自分で選ぶ遊びの中でも、ポンポンをもって繰り返し踊ったり、動物の衣装を身に着けて遊んだりしています。また、自分で選ぶ遊びの中で、つなとりやりりレーに友達を誘い合って繰り返し遊んでいます。チームが勝てるように自分の力を出したり、仲間を応援したりしながら、友達と競うことを楽しんでいます。

### <今月のねらい>

- 運動会に向けて学級の友達と取り組む中で一人ひとりが自分の力を十分に発揮し、満足感や達成感を味わう。
- できた喜びやうまくいかない悔しさを感じながら、最後まで諦めずに取り組もうとする。
- 生活や遊びに見通しをもち、友達と一緒に取り組んでいこうとする。

### <家庭との連携>

運動会に向けて活動を進める中で、子どもたちは今「勝って嬉しい。」「負けて悔しい。」という気持ちを繰り返し感じています。これから、チームの仲間と力を合わせて活動に取り組む中で、葛藤する場面もみられることが予想されます。気持ちを切り替えたり乗り越えたりする力や、自信がつくよう、思いを聞いたり、次に頑張ろうという気持ちをもてるように励ましたり等、あたたかい応援をお願いします。

## ほしグループ 長時間保育

9月はおやつ後も暑さが厳しい日が多く室内で遊ぶことが多かったです。

うさぎ組は、保育室で井形ブロックや着せ替えパズルなどの遊具でゆったりと遊んで過ごしました。また、園庭に出られた時には色水をしたり、保育者や周りの幼児とおいかっこをしたりしました。

くま組は、京花紙を使って友達と一緒に弁当の具をつくるとお弁当箱に詰めてやりとりをしながら食べ合って遊びました。また、虫図鑑や爬虫類図鑑などの生き物に興味をもち、図鑑をじっくりと見ながら生き物の絵をかいて遊ぶ幼児の姿も見られました。

そろ組は、友達と一緒に机上のバランスゲームをしたり、製作でミニチュアのコップや食べ物などを集中してつくったりして遊びました。また、園庭ではくま組も一緒になって氷鬼などの鬼ごっこをして遊びました。

10月になり、ますます体を動かして遊ぶことを楽しむ幼児の姿が予想されます。一緒になって遊んだり子ども同士で遊び始める姿を見守ったりしていきます。